



すぎなみフェスタに向けての学習会

4年生が紫藤ご夫妻のご指導を仰ぎながら育てていたゴーヤ。今年度も涼しい日陰とおいしいゴーヤの実をたくさんの人々に提供することができました。

いま、地球温暖化がどんどん進み、その解決が人類の大きな課題となっています。4年生のゴーヤを育てるという取組は、その具体的な手立ての小さな一歩なのです。そこで、この実践を「すぎなみフェスタ2025」（健康、福祉、農業、環境等の分野を含めた総合祭。11月8日に、杉並木公園で開催）で発信するために、紫藤ご夫妻をお招きして、再度、学びを深めました。

人から人へ、「大切なこと」が受け継がれていく・・・その瞬間を垣間見ることができました。



修学旅行に行ってきました

10月26、27日の一泊二日で、6年生の修学旅行を行いました。長崎県及び佐賀県での学習です。

一日目は、平和講話やフィールドワーク（原爆資料館・爆心地公園・平和公園・浦上天主堂・如己堂、山里小学校）と平和学習を頑張りました。

そして、お楽しみのホテルへ。夕食では、興奮して大量のご飯を平らげていた子どもたちでした。友達と過ごす一夜はどんなに楽しかったことでしょう。

二日目は、出島記念館、長崎中華街、大浦天主堂、グラバー園見学を経て、佐賀県の吉野ヶ里遺跡へ向かい、主に歴史と文化についての学びを深めました。

帰路に就くと「まだ帰りたくない。もう一泊したい。」という声や、「ホームシックになったから、早く家に帰りたい。やっぱり菊陽がいい。」という声もありました。

たくさん学び、友達と楽しく過ごし、思い出いっぱいの旅行となってくれたことでしょう。



地域の伝統を守り継ぐ～お法使祭～

10月30日に、お法使祭り（おほしまつり）が行われました。お法使祭りは、毎年10月30日に行われる津森神宮の祭りで、益城町、西原村、菊陽町、の12地区を順次一年単位で廻る、津森神宮（益城町寺中鎮座）の付属神事の一つです。御法使の当番区では、それぞれ「御仮屋」を建て、一年間御神体を安置し、翌年、次の当番区へ「受け、渡し」が行われます。

この祭りの特徴は、オホシサンを神輿に安置し、この神輿を受け渡し場所へ運ぶ途中に、道や田畠に投げ落とす荒神輿で大変珍しい祭りです。

今年度は戸次地区に神様が来られ、戸次の子どもたちが祭りで大活躍していました。来年度以降は、馬場楠、曲手、辛川と伝わっていく予定なので、今から楽しみですね。

